

2019年度

自己点検・評価報告書

2020年3月

学校法人 文理学園

日本文理大学医療専門学校

臨床工学科

目次

I	学校の現況	1
II	評価の基本方針	2
III	重点目標	2
IV	評価項目の達成及び取組状況	3
	1. 教育理念・教育目標	3
	2. 学校運営	4
	3. 教育活動	5
	4. 学修成果	6
	5. 学生支援	7
	6. 教育環境	8
	7. 学生の受入れ募集	9
	8. 財務	10
	9. 法令等の遵守	11
	10. 社会貢献・地域貢献	12
V	総合評価	13

I 学校の現況

(1) 施設の概要

学校名: 学校法人 文理学園 日本文理大学医療専門学校

所在地: 大分県大分市一木1727

施設長: 校長 豊住 昭和

(2) 沿革

1995年(平成7年)NBUメディカルカレッジ 診療放射線学科設置

2004年(平成16年)日本文理大学医療専門学校に改称

2005年(平成17年)臨床検査学科 臨床工学科設置

(3) 学科の構成

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員	昼夜別
医療専門課程	診療放射線学科	3年	80名	240名	昼間
	臨床検査学科	3年	40名	120名	昼間
	臨床工学科	3年	40名	120名	昼間

(4) 学生数

学科名	1学年	2学年	3学年	全学年
診療放射線学科	66	60	56	182
臨床検査学科	37	32	34	103
臨床工学科	19	20	15	54

(5) 教職員数

	専任	非常勤
診療放射線学科	9	4
臨床検査学科	6	6
臨床工学科	7	8
職員数	22	18

II 評価の基本方針

- (1) 自己点検・自己評価を行うことにより教育研究活動の現状を把握し、諸機能を活性化させ、その教育水準の維持向上に努めることを目的とする。
- (2) 自己点検・自己評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」に則り実施するものとする
- (3) 判定基準
 - 4…適切 適切にされており、特に解決すべき課題はない
 - 3…ほぼ適切 現時点で早急に解決すべき課題はないが、状況把握が必要
 - 2…やや不適切 状況把握を行い、解決に向けた取組みが必要
 - 1…不適切 早急に解決すべき課題である

III 重点目標

1. 学校の教育理念と目標

- (1) 幅広い教養、奉仕の心、生命の尊厳の認識を持った人間的資質を磨き、社会が医療人に求めているものを的確に把握し対応できる能力を習得させる。
- (2) 医療従事者として、明確な目標を持ち、生涯にわたり自己研鑽を継続的に実施できるような自分を律する人間を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 国家試験合格率100%を目指した教育の実践
- (2) 定員充足率100%を目指した学生募集の展開
- (3) 学生の就職活動の早期化および、施設の開拓

3. 学科の目標

- (1) 国家資格を取得するためには目標・目的を明確にすることが重要であり、入学後早期に実施する病院見学を通して臨床工学技士の業務等を意識させる。
- (2) 資格試験の受験等をととして学力の向上に努め、留年・退学による学生数の減少を抑え、国家試験の全員合格を目指す。

IV 評価項目の達成及び取組状況

1. 教育理念・教育目標

評価項目		評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4…適切
2	学校における職業教育の特色は何か	4…適切
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4…適切
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3…ほぼ適切
5	学科の教育目標、育成人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4…適切

① 課題	
4	成績、行事日程等の情報は書面を用いて連絡を行っているが、日々の教育活動については周知不足である。
② 今後の改善方策	
4	本校HP、SNS等を活用し周知する。
③ 特記事項	
4	教育理念、教育目標をパンフレット、募集要項にアドミッションポリシーとして掲載した。 また、校友会誌に卒業生の現況を掲載した。

2. 学校運営

評価項目		評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4…適切
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4…適切
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3…ほぼ適切
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4…適切
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3…ほぼ適切
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3…ほぼ適切
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4…適切
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3…ほぼ適切

① 課題
8 情報システム(教務システム)でのPC運用方法を習得し、教務関連業務の効率化が図れた。
② 今後の改善方策
8 情報システム(教務システム)でのPC運用を徹底し、業務のさらなる効率化を進める。
③ 特記事項

3. 教育活動

評価項目		評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4…適切
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4…適切
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4…適切
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3…ほぼ適切
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3…ほぼ適切
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4…適切
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4…適切
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4…適切
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4…適切
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4…適切
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3…ほぼ適切
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3…ほぼ適切
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3…ほぼ適切
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3…ほぼ適切

① 課題
5 関連団体との協力体制は整っているが、連携してのカリキュラム作成及び見直しに関しては不十分であった。 8 第2種ME試験の合格率が低く、今年度卒業生全員が資格を取得することができなかった。
② 今後の改善方策
5 教育課程編成委員会において、教育施設協議会で得られる情報を踏まえて意見交換を行い、カリキュラムの見直しおよび改定作業を進めていく。 8 資格取得のための指導体制の問題点を確認し、改善を行う。
③ 特記事項

4. 学修成果

評価項目		評価
1	就職率の向上が図られているか	4…適切
2	資格取得率の向上が図られているか	3…ほぼ適切
3	退学率の低減が図られているか	3…ほぼ適切
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3…ほぼ適切
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4…適切

① 課題
3 成績不振、精神的理由による退学者をなくすことができなかった。
② 今後の改善方策
3 退学者をなくすように、学生面談を徹底するとともに個別指導の強化を図る。 4 校友会組織を活用し、卒業生との連絡体制を強化し動向の把握に努める。
③ 特記事項

5. 学生支援

評価項目		評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4…適切
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4…適切
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4…適切
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3…ほぼ適切
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4…適切
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4…適切
7	保護者と適切に連携しているか	4…適切
8	卒業生への支援体制はあるか	3…ほぼ適切
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3…ほぼ適切
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4…適切

① 課題
8 校友会という学校全体での支援体制はできあがっているが、学科独自の支援体制はまだ不十分である。
② 今後の改善方策
8 臨床工学科卒業生に対して、メール・SNSを活用し、卒後も継続的に情報発信したい。
③ 特記事項
5 技士会の学会、研修会に積極的に参加した。

6. 教育環境

評価項目		評価
1	施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3…ほぼ適切
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4…適切
3	防災に対する体制は整備されているか	4…適切

① 課題
1 設備の耐用年数、老朽化の問題により、教育環境が不十分となる恐れがある。
② 今後の改善方策
1 教育環境が整うように、設備の整備計画を練る。
③ 特記事項

7. 学生の受入れ募集

評価項目		評価
1	学生の募集活動は、適正に行われているか	3…ほぼ適切
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4…適切
3	学納金は妥当なものとなっているか	4…適切

① 課題
1 大学進学者の増加、職種の認知不足等により受験者が減少し、募集定員に達していない。
② 今後の改善方策
1 全教員が募集担当者の意識を持つように意識改革を図る必要がある。また、臨床工学技士の認知拡大を図るために、高校訪問、SNSの活用を積極的に行う。
③ 特記事項

8. 財務

評価項目		評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3…ほぼ適切
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3…ほぼ適切
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4…適切
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4…適切

① 課題	
1 学生数の逡減に対する対応策が必要。	
② 今後の改善方策	
1 学生数の確保を図り、継続して中長期的な財務基盤の安定に努めていく。	
③ 特記事項	
2 予算の編成及び執行は毎年適正に実施している。 3 会計監査は、公認会計士及び監事により適正に行われている。 4 学園の財務情報を毎年ホームページに公開している。	

9. 法令等の遵守

評価項目		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4…適切
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4…適切
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4…適切
4	自己評価結果を公表しているか	4…適切

① 課題	
3	自己評価は適切に実施しているものの、改善に関する話し合いが少なかった。
② 今後の改善方策	
3	問題点改善のため、話し合いの機会を多く設定する。
③ 特記事項	
2	個人情報保護の観点から、写真等を掲載する際には承諾を得るように改善をした。

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3…ほぼ適切
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4…適切
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3…ほぼ適切

① 課題
3 現在は職業紹介に関する講座の割合が高い。
② 今後の改善方策
3 施設を公開するなどして積極的に受入れを行っていく。 (現在は高校生。PTA等の受入れを行っている。)
③ 特記事項
2 献血活動などのボランティア活動に参加した。

V 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

【学校評価の具体的な目標】

健全な学校運営、社会のニーズに沿った質の高い教育の提供を目標とし、その取り組み及び達成状況等について自己評価を実施するとともに、その結果を公表することとする。
また、学校関係者評価委員会並びに教育課程編成委員会を設置し、その各委員会からの意見
或いは外部からの意見を踏まえ、問題点の改善を図っていくことで、目標達成を目指す。

【総合的な評価】

2018年度と比較すると、各評価項目の達成度および取組状況について改善を図ることができたが、
まだまだ改善の余地も残されていることから、改善方策に挙げた意見を踏まえ、各評価項目の
評価改善を図る。
また、「評価」の改善には教員の能力向上も必須であることから、各個人が意識改革を図り、
健全な学校運営、社会のニーズに沿った質の高い教育の提供に努める。